

「雄志」67号

衆議院議員

谷 田 川
は じ め



立憲民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2

TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

Mail:info@hajime-yatagawa.com

HP:www.hajime.yatagawa.com

国会事務所



〒100-0014 東京都千代田区永田町2-2-1

衆議院第一議員会館 1208号室

TEL 03-3508-7292 FAX 03-3508-3502

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

昨年9月に菅内閣が誕生し、衆院解散の時期が取りざたされていますが、通常国会冒頭の解散はなくなったようです。となると次の可能性がある時期は、令和3年度予算が成立するであろう3月末か4月です。ただ、この時点でコロナ感染が収束するとのはつきりとした見通しがあるわけではなく、状況は全く不透明です。任期満了日は10月21日ですから、それまでには間違いなく衆院選挙が実施されます。これからはまさに「常在戦場」の心構えで、地元活動を展開していく所存です。



熊谷俊人氏と力強くガッツポーズ！

ます。

今こそ、政策力をしっかりと持つ人を千葉県知事に押し上げようではありませんか。熊谷氏は昨年11月29日に私が開催した集会に出席して、その思いを語ってくれました。詳細は5ページに記載しましたので、ご覧下さい。

是非熊谷氏には県内の54市町村を東ねて、千葉県の総力を結集できるリーダーになつてもらい、国の厚い規制の壁を打ち碎いて、真の地方創生を成し遂げる政治家になつてほしいと心底思っています。

どうか私の心情をお汲み取り頂き、熊谷氏に対しましてご理解とご協力を賜りたく切にお願い申し上げます。

祈り致します。

令和三年 元旦

谷田川はじめ

長をお迎えして東総文化会館で国政報告会を開催！

11月29日（日）東総文化会館において、谷田川はじめ東総地区後援会（旭市・匝瑳市・旧光町）主催による国政報告会を開催。新型コロナウイルス対策を十分に行い（検温、消毒、マスク着用）、約4百人が参加。石毛健さんと小関奈津子さんの司会により、会が進行しました。

主催者を代表して、越川竹晴野栄地区後援会長が挨拶。「思いは一つ。谷田川はじめを再び国政に送ること。支援していただきたい。」と力強く訴えました。引き続き、谷田川はじめの大学同期である安住淳立憲民主党国会対策委員長が登壇。党派を超えて熊谷氏を支援するという意思表示があり、「次回の衆議院議員選挙が従兄の山村新治郎氏のような大物政治家になれるかどうかの分岐点だ」と指摘。谷田川はじめへの一層の支援を呼びかけました。

続いて、佐藤晴彦横芝光町長が登壇。地域のために尽力している谷田川はじめへの感謝と今後の活躍を期待する旨の話がありました。

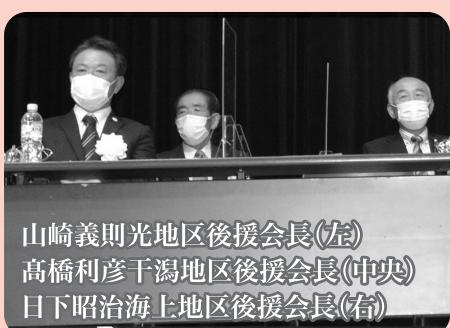
そして、谷田川はじめが国政報告を行い、「選挙区のことを地元選出の国会議員が発言しないと省庁は動かない」と力説するとともに、「今後とも、質問は地元に立脚して行うことを心掛けていく」との決意表明。さらに、熊谷氏への支援を要請しました。（谷田川はじめの詳しい講演内容は4ページに掲載）



司会の石毛健さんと小関奈津子さん



越川竹晴野栄地区後援会長

石橋誠八日市場地区後援会長（左）
香取弘之飯岡地区後援会長（中央左）
金谷斌旭地区後援会長（右）山崎義則光地区後援会長（左）
高橋利彦千潟地区後援会長（中央）
日下昭治海上地区後援会長（右）

佐藤晴彦横芝光町長

安住淳立憲民主党国会対策委員長、熊谷俊人 千葉市



最後に熊谷俊人氏が演壇に立ちました。同氏は現在千葉市長3期目を務めており、来年4月に実施される千葉県知事選挙に立候補することを表明しています。「千葉市を11年かけて現場主義で改革してきたが、県政には改革意識が足りないことを痛感。それを打開するためにも立候補するしかない」と、決意した経緯を披露。更にパワー・ポイントを使用し、千葉県の抱える問題について、どのように解決するかをわかりやすく説明。結びに、「可能性に満ち溢れた千葉県に住んでいることが誇りに思える県にしたいと熱い思いを語りました。そして、「千葉県を活性化させていくためにも皆さんのお力を借りしたい」と懇願。(熊谷俊人氏の詳しい講演内容は5ページに掲載)

閉会後は、谷田川はじめと熊谷氏が参加者をお見送り。握手ができないため、グータッチで挨拶を交わしました。

会場からは、「熊谷さんは若いのにしっかりしているね。」、「ぜひ知事にしたいね。」、「谷田川さんも熊谷さんに負けてられないね。」との声が各方面から聞こえました。

尚当日の安住氏、熊谷氏、そして谷田川はじめの演説の動画が谷田川はじめのホームページに掲載されています。是非ご覧下さい。

谷田川はじめ

国政報告要旨

1年半で14回の質問

去年の3月の繰り上げ当選から1年半、国会で14回質問に立った。選挙区の問題は、地元の国会議員が働きかけないと省庁は動かないということを実感している。銚子地先の利根川の堤防のないところから洪水が起こり、国土交通委員会で質問したら、すぐ6億の予算が付いた。政治生活27年で、質問してすぐ予算が付いたのは初めてだった。

横芝光町から成田空港への アクセス道路

セス道路の建設を検討するという文言が入つておらず、横芝光町が軽んじられていると思つた。

熊谷氏は成田空港の発展について、特に空港の東側に雇用の場を作ることが重要との意見を持つている。横芝光町の中心部から成田空港へのアクセス道路は政策的に矛盾しない。アクセス道路を実現させるため、熊谷知事の誕生に向け、是非皆様のお力添えをお願いしたい。

東日本大震災、去年の台風。非常に残念なのは、県の動きが鈍いこと。本来ならば被災者に寄り添つて市町村と一緒に国に対しても要望すべきところ、県が国に確認せず、「できません」と回答するケースがある。一例として、東日本大震災時、田んぼの用排水路が寸断され、田植えができない状況になつた。1週間後に香北土地改良区の方に呼び出され、現場へ。激甚災害に指定され、国が復旧費用を負担してくれることになつたが、県の職員が「査定をしないと工事に取り掛かれない。査定前に工事をしたら、それは自分持ちになる」と発言。すぐに農水省に問い合わせたところ、担当者より、「査定前着工」という制度があり、証拠写真と簡単な書類を提出するだけで良い」と言われ、唖然とした。

私は、平成21年8月30日に初当選。その前日の8月29日に黄鶴の駐車場で最後の東総地区街頭演説会を行ない、2か月前に市長に当選したばかりの熊谷さんが応援に来てくれた。それ以来の付き合いになる。

横芝光町の中心部から成田空港へのアクセス道路は、町の強い要望だ。第3滑走路の建設予定地に多古町、芝山町は含まれるが、横芝光町はかかるない。そのため、固定資産税が入らない。

3本目の滑走路の離発着が行われると、騒音だけが押し付けられる。反対の意見が多く寄せられたが、町長は空港と共に生しなければならないと受け入れを決断。それに対しても感謝の意思表示をする必要があると思う。今年3月に千葉県により策定された実施プランで、アク



熊谷氏との出会い

東日本大震災、去年の台風。非常に残念なのは、県の動きが鈍いこと。本来ならば被災者に寄り添つて市町村と一緒に国に対しても要望すべきところ、県が国に確認せず、「できません」と回答するケースがある。一例として、東日本大震災時、田んぼの用排水路が寸断され、田植えができない状況になつた。1週間後に香北土地改良区の方に呼び出され、現場へ。激甚災害に指定され、国が復旧費用を負担してくれることになつたが、県の職員が「査定をしないと工事に取り掛かれない。査定前に工事をしたら、それは自分持ちになる」と発言。すぐに農水省に問い合わせたところ、担当者より、「査定前着工」という制度があり、証拠写真と簡単な書類を提出するだけで良い」と言われ、唖然とした。

被災者の思いをしないがしろにする県政は許されない。それを正すことができる者は熊谷さん。千葉市政においては現場の声を大切にしてこられた。是非それを知事になつても実践して、市町村、住民と一体になつて国の厚い壁を打ち碎いてもらいたい。熊谷さんには、その先頭に立つて欲しい。

お陰様で、小選挙区で当選できた。その後3回続けて落選。昨年運よく繰り上げ当選できたが、次の選挙がまさに正念場。全力で頑張る所存。

熊谷俊人氏 知事選に向けた決意表明

経済発展はビジョンが大切

現場主義の徹底

千葉市は人口98万人の都市。11年間市政を現場主義で改革した。来年3月は県政の課題を解決する大きなチャンスと捉え、知事選に出る決意をした。

まず第一に訴えたいのが「徹底した現場主義と対話」。市長に就任以来、現場に行つて話を聞き、部下からの情報と、当事者の意見を突き合わせ、ボトムアップとリーダーシップとのバランスを取りつて問題を解決してきた。

市町村との連携ができていない

県のコロナと災害対策

コロナ問題について、県の保健所と市町村との関係がスマーズでない。解決するには県の保健所内に市町村担当の管理職を据え、市町村長に状況を逐一報告して早めに対応できることが必要。

国や他都道府県の様子見の対策ではなく、先を見据えた対策が肝要。今考えるのは春のこと。ワクチンが出てくるので、財政的大きな負担になる小規模の市町村を県がどのように支えるかを議論する。

災害について、災害の度に職員を被災地に派遣。



現場に一層の権限を与える教育

40人学級を分割するかど

うかなどは、それぞれの学校に判断させるべき。学校長の決断である程度柔軟に変えられる、

現場に裁量権を与える教育を実現したい。

他の市町村の災害時に援助できる実践的なノウハウの構築が重要。

経済は千葉県の最重要課題。東総や南房総、外房地域の発展のために産業用地を整備し、雇用を生み出していく。

成田空港は国際物流が非常に強い。横芝光や旭といった、空港の東側への雇用の網は、5年から10年で確実にできる。

農水産品の千葉ブランドを推進
農業と漁業で改善をしたいのは食文化。品目ごとにPRしているが、ブランド化するためには千葉県産品は「美味しい」という印象付けが必要。漁業や農業を千葉県の売りとして推していく。

市町村と連携した行政改革の推進

行政には効率化できる余地が多い。千葉市がやつてきたのは上水道と下水道の徴収一元化。こういう事業は2、3年でローテーションする職員ではできない。市町村同士では解決できないことを県が入ることで、全体の行政効率が高まる。

知事選に向けての熱い思い

千葉県は皆さんが思っている以上に可能性が満ち溢れた県。住んでいることが誇りに思えるような千葉県を作つていきたい。皆さんの地域や県に対する思いを私に預けて頂き、一緒になつて千葉県を活性化させていきたい。

**くまがい としひと
熊谷俊人氏 プロフィール**

1978年生まれ、神戸市出身
2001年早稲田大学政治経済学部卒業、NTTコミュニケーションズ株式会社入社
2007年5月から千葉市議会議員
2009年6月 千葉市長選挙に立候補し当選。当時全国最年少市長(31歳) 政令指定都市では歴代最年少市長となる。
2013年、2017年ともに歴代最多得票数を更新し、現在3期目

来たるべき衆院選に向けて、谷田川はじめの重点政策を掲げ、選挙区内の皆様が十分理解できるよう、広報活動に力を入れて参ります。その第一弾として、3つの政策の柱、「成田空港の機能強化」、「第一次産業の振興」、「子どもの立場に立った教育改革」を本誌に掲載しました。ご一読いただき、ご意見やご質問を是非事務所にお寄せ下さい。

TEL : 0478-54-5678 FAX : 0478-52-6991 E-Mail : info@hajime-yatagawa.com

子どもの立場に立った教育改革！



旭市立飯岡中学校 谷田川はじめの尽力で
高台移設実現

● 教育予算の拡充

OECD(経済協力開発機構)38か国の中で、日本の公教育に関する予算がGDP(国内総生産)に占める割合が2.9%で、37位にランクされています。日本のような資源が乏しい国では、人材育成が最重要課題です。まさに、教育は未来への投資なのです。少人数学級の実現など、教育予算を拡充します。

● 教員免許更新制の廃止

2009年より教員免許更新制が導入され、10年ごとに免許更新のための講習が義務付けられました。30時間の講習時間、3万円の講習費用、講座のある大学に通うための手間もあり、教員の方々に大きな負担がかかっています。

この制度があることで、教員志望者が減少し、優秀な人材が教職に就くことを敬遠する一因になっているとも言われています。この制度は早期に廃止し、優秀な教員を確保するためには、待遇改善を行うべきです。

● 給付型奨学金の拡充

経済的に余裕がない大学生が利用する奨学金は、貸与型の比率が多く、卒業後の返済に苦しむケースが少なくありません。給付型の奨学金を増やし、安心して学業に専念できる環境を整えます。

● 教員配置の適正化

教育現場と教育委員会との人事交流は必要ですが、優秀な教員が現場を離れ、教育委員会で長期間働くことは宝の持ち腐れになりかねません。優秀な教員は現場に戻り、教育力の向上を図ります。



日本一の水揚げ高を誇る
銚子漁港

● 水産業の振興

農業と同様に水産業でも6次産業化を推進。セーフティーネット事業や積み立てプラスの強化と同時に、漁業資源の管理を強化・拡充し、経営の安定を図ります。

特に銚子市は年間水揚げ量が9年連続日本一で、水産加工業は銚子市の工業生産額の約4割を占めています。人手不足の解消と輸出強化に向けた政策を推進します。

● 林業の振興

森林の適切な管理により森林環境を保全し、国産材の安定供給の強化と利用推進を図ります。

● 食料自給率の向上

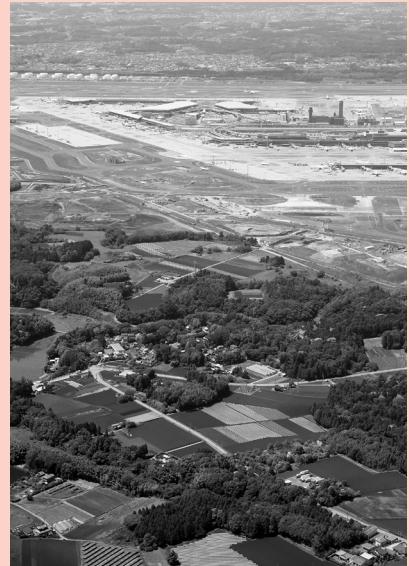
日本の食料自給率は昨年度38%(カロリーベース)。食の安全、また、食の安全保障の観点からも国内の食料生産の比率を高めていくことが必要です。そのための誘導政策を積極的に展開します。

谷田川はじめの重点政策

成田空港の活性化と地域振興！

● B滑走路の延伸、新滑走路の早期着工

コロナ感染が収束すれば間違いなく航空需要は回復し、増加に転じます。そのためにも、B滑走路の延伸と新滑走路の設置を早期に実現させます。



● 成田空港東部地域の振興

空港の機能強化を通じて、空港東部地区にも関連施設の配置、大型商業施設の誘致を進めることにより、地域の活性化を図ります。

● 成田空港へのアクセス道路の整備

成田空港の機能強化により、関連雇用が4万人から7万人になることが予測されます。将来の空港産業従事者の定住地域となることが期待される東総地域の利便性を高めるため、成田空港へのアクセス道路を整備します。

● 「土屋駅」(仮称)の早期設置

「土屋駅」の設置により、イオンモール利用客のみならず、近隣住民の通勤・通学の利便性の向上にもつながります。成田市も需要予測調査を行っているところですが、「土屋駅」早期設置を目指します。

第一次産業の振興！

● 戸別所得補償制度の法制化

天候や収穫の状況によって収入が左右される農業。また、外国産との価格競争で不利な日本の農家の収入を安定させるため、民主党政権時代に戸別所得補償制度が導入されました。この制度を復活させ、食糧安全保障のためにも法制化を目指します。

同時に、畜産経営においても、肉用牛肥育安定特別対策事業及び養豚経営安定対策事業を強化します。



2019年9月の台風で被害を受けた旭市のビニールハウスを視察する谷田川はじめ

● 6次産業化の推進

農業従事者が生産のみならず、加工や販売を行う6次産業化(第1次×第2次×第3次→6次産業化)を推進します。

衆院選に向けて、積極的に駅頭活動を展開！

谷田川はじめは千葉県議時代から27年間、早朝に選挙区内の駅頭に立って政策ビラを配布しております。毎月内容を変えて配布しておりますので、もし駅頭で谷田川はじめを見かけたら、ぜひ声をかけてください。



12/7 京成成田駅 6:00～8:30



12/8 佐原駅 6:10～8:15



12/9 JR成田駅西口 5:45～8:45



12/14 公津の杜駅 5:45～8:45



12/15 小見川駅 6:00～7:50



12/16 下総神崎駅 6:20～8:20



12/17 銚子駅 5:45～7:45



12/21 八日市場駅 6:00～8:10

ポスター掲示 ご協力のお願い

ポスターを作成しました。
是非、ご自宅の壁や塀等に
貼らせて頂きたく
ご協力をお願い致します。



谷田川はじめプロフィール

1963年1月17日香取市生まれ

千葉県立佐原高校、早稲田大学政治経済学部卒業

千葉県議会議員4期、衆議院議員2期、松下政経塾出身

現在、立憲民主党政務調査会副会長

文部科学委員会、決算行政監視委員会、憲法審査会に所属
立憲民主党千葉県連副代表、千葉県ハンドボール協会会长

○後援会ニュース「雄志」 定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」
を年4回発行しています。あなたのご意見を反映
します。

年会費一口2,000円(何口でも可)

購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288 「谷田川元後援会」

冠婚葬祭等の情報がありましたら、
谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整が
つけば、谷田川はじめが顔を出させて頂きます。